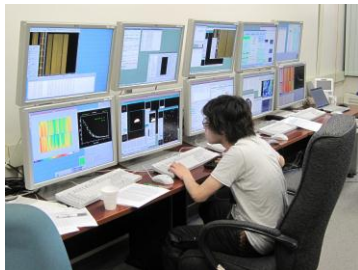


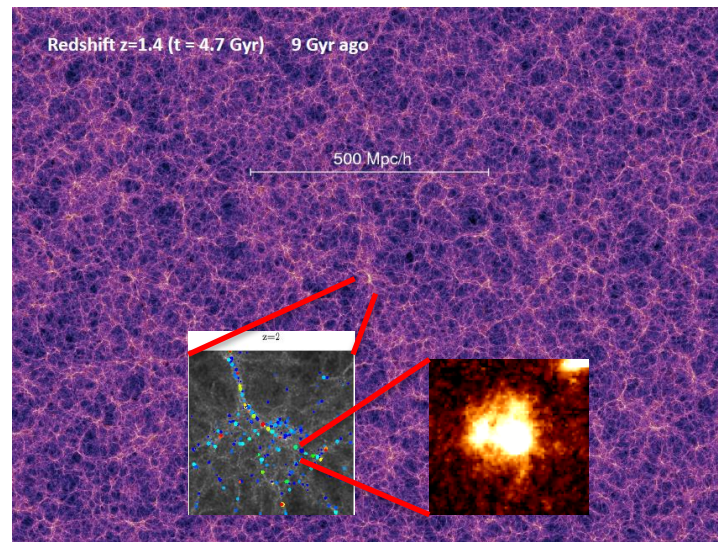
- 名前: 馬渡 健
- 学年: 大学院修士2年
- 出身: 千葉県我孫子市
- 高校: 江戸川学園取手



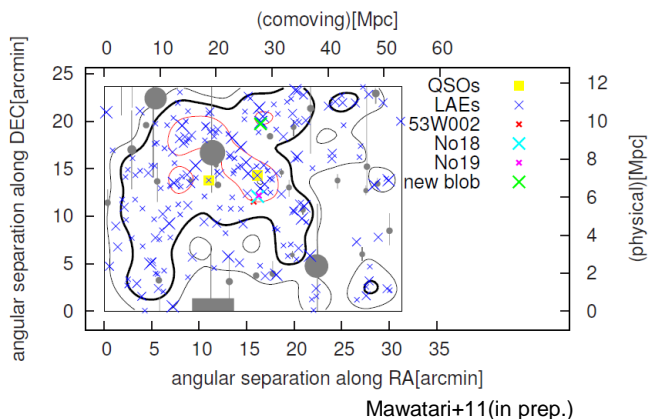
• 研究内容:
銀河の進化史

~大規模構造形成と個々の銀河との相関~

私は現在、遠方銀河団の観測データの解析から遠方銀河の環境依存性に関する研究を進めています。



Millennium Simulation (<http://www.mpa-garching.mpg.de/millennium/>), Joerg Colberg and Antonaldo Diaferio (<http://www.mpa-garching.mpg.de/GIF/>), Mawatari+11 (in prep.)



• 左図はハワイ・すばる望遠鏡で撮られた53W002Fという領域におけるLAEという銀河の空間分布図です。Ly α 輝線法という特殊な観測法で撮られているため、プロットは全て赤方偏移が同じ($z=2.4$)LAEになります。つまりこの図は $z=2.4$ 即ち約100億年前の構造のスナップショットになります。この時代ですでに銀河分布の疎密(大規模構造)がはっきり存在することが見てとれます。

• 上図のような大昔の宇宙のスナップショットを使って、私は銀河が住む領域の構造としての成熟度と銀河自身の性質との間に相関(時代毎の銀河の環境依存性)がないか解析中です。こうした「時代毎に構造形成理論をとりいれた環境依存性を探る研究」というのは世界的に例がなく、銀河の形成・進化の正しい理解へもつながるでしょう。

